

土木学会 原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会（第2期）

第1回小委員会 議事録

1. 日時：2023年8月24日（木）15:00-17:30
2. 場所：Zoomによるオンライン会議
3. 出席者：奈良委員長、荒川委員、桑垣委員、中村委員、堀口委員、松村幹事長、蛭沢常時参加者、武田常時参加者
4. 資料
資料1 第11回リスクコミュニケーション小委員会議事録（案）（松村幹事長）
資料2 安全性向上を担うリスク・コミュニケーター育成事業 受講者募集の予告について（堀口委員）

5. 議事要旨

リスコム小委員会（第2期）の初回となる今回の小委員会では、まず、参加者全員から簡単な自己紹介を行い、前回小委員会の議事録案を確認した。続いて、土木学会論文集への論文投稿、リスク・コミュニケーター育成講座、その他について、紹介・確認、意見交換を行った。

論文については、土木学会からの査読意見が紹介され、対応について意見交換を行った。今後は著者の先生方で対応内容を検討し、修正した論文を学会へ提出することとした。

リスク・コミュニケーター育成講座（エネ庁事業、原子力安全技術センター主催）の予告が紹介された。委員が講師を務める予定であり、本小委員会で実施した、土木学会原子力土木委員会ならびに原子力学会リスク部会のデルファイ調査の結果の一部を講演内容に含める予定であることが報告された。同講座は11月から12月に開催される予定であり、両資料ともに既発表（土木学会の調査結果は2022年度の全国大会、リスク部会の調査結果は2023年9月の原子力学会秋の大会予定）の内容であり、特に問題ないことが確認された。

その他、武田氏が規格・情報小委員会の防災WGとの情報共有役も兼ねて、引き続きオブザーバとして参加することとなった。

6. 今後の予定

論文の査読意見対応を著者の先生方で進め、出来次第、学会へ返答していく。9月の原子力学会秋の大会にてリスク部会の調査結果を発表する。原子力学会とのコラボ、インタビュー調査、枠組み暫定案の具体については次回以降、検討していく。次回小委員会は11月頃に開催する。

以上